

番	質問	回答
1	採用に年齢制限のある職種はありますか。	職種(区分)により年齢制限が異なります。また、採用人数についても年度ごとに異なります。 詳細は、各試験・選考の受験案内でご確認ください。
2	例年と比べて採用人数に変更はありますか。	
3	同一日に実施する複数の職種を受験することはできますか。また年度内で2回目の試験がある場合、もう一度受験することができますか。	同一日に実施する複数の職種(区分)を受験することはできません。別日程(6月試験と9月試験など)であれば、複数の職種を受験することができます。 同一年度内に2回目の試験がある場合、1回目の試験を受験した方も再度受験することができますが、通年で実施する民間企業等・公務員経験者採用選考は、同一年度に複数回受験することはできません。
4	障害種別(身体・知的・精神)による採用の有利不利はありますか。	障害種別(身体・知的・精神)による採用の有利不利はありません。
5	相模原市在住ではないのですが、受験の上で不利になる点はあるのでしょうか。	住所地による採用試験の有利不利はありません。 採用後の住所について、特段の制限はなく、相模原市以外に居住する職員も多数います。
6	採用された際、相模原市に移住しなくてはならないなどの条件はあるのでしょうか。	
7	職員の方の中に相模原市出身でない方はどのくらいの割合でいらっしゃいますか。	
8	運転免許証は必要ですか。	一部の運転が必要な職種(環境整備員等)を除き、受験にあたり運転免許証の取得は必要ありません。また、運転免許の有無による採用の有利不利もありません。ただし、業務によっては公用車を運転する場合がありますので、運転免許を持っていた方が携わることができる業務の幅が広がったり、業務を遂行する上で便利な場合もあります。(ちなみに、公用自転車もあります。)
9	申込日はいつですか。	市ホームページ「職員採用案内」をご確認ください。日程等の詳細は、申込開始日に公表する受験案内にてご案内します。
10	令和8年度の試験日程はいつ頃決まる予定でしょうか。	★令和8年度職員採用試験・選考日程及び変更点について https://www.city.sagamihara.kanagawa.jp/_res/projects/default_project/_page_/001/005/242/20260127_henkou.pdf
11	例年受験者はどのくらいですか。	過去の受験者数や合格者数については市ホームページに掲載しております。 ★試験(選考)実施状況のページ https://www.city.sagamihara.kanagawa.jp/shisei/1026815/shokuin_annai/1005289.html
12	面談と面接の違いは何ですか。	個別面談とは、対話形式で人物的側面を評価するものです。高校の進路相談などで行う三者面談をイメージすると分かりやすいと思います。面接よりも受験者と試験官の距離が近く、自己アピールしやすい状況で受験することができます。
13	現在、高校3年生で、大学進学後に公務員試験を受験しようと考えています。文系・理系どの学部でも受験できますか。	受験資格に学歴は要件としておりませんので、文系・理系どの学部でもご受験いただけます。行政、学校事務、消防職の筆記試験は「教養試験のみ」としていますので、学部を問わず受験しやすい内容となっています。また、行政、学校事務、消防以外の専門職は、教養試験がなく、それぞれの職種の専門的な内容を問う「専門試験のみ」としています。(専門の学部を卒業していないと受験ができないわけではございません。詳しくは受験する職種の受験案内でご確認ください。)

番	質問	回答
14	最終合格したら、必ず採用されますか。	最終合格した方は、辞退者及び採用待機者を除き、原則として全員採用されています。ただし、必要とされる資格・免許等が取得できない場合などは採用されません。
15	入庁までにやっておいた方がいいことはありますか。	「必ずこれをやっておいてください」というものはありませんが、社会人になると、プライベートでまとまった時間を確保することが学生るときよりも難しくなります。自分がやりたいことにぜひ全力で取り組んでください。
16	1日のワークスケジュールを教えてください。	多くの職員が8時30分に出勤し、12時～13時までの昼休憩をはさみ、17時15分までの勤務となります。ワークスケジュールについては職種や配属先、業務内容等によって異なります。
17	残業等がどれくらいあるのか教えてください。	部署によって異なりますが、令和6年度の1人当たり月時間外勤務時間数(平均)は15.1時間(行政職給料表(1)適用職員)でした。どの部署も忙しい時期はありますが、ノー残業デー(毎週水曜日や給与賞与支給日等)を実施したり、仕事が落ち着いたところで休暇を取得したりして、メリハリをつけて働いています。
18	休暇は取得しやすいですか。	年次休暇(有給休暇)は1年に20日付与され、令和6年度の職員の平均取得日数は15.6日(行政職給料表(1)適用職員)です。取得できなかった残りの日数は、20日を上限として翌年度に繰越してできます。それとは別に、夏季休暇(令和7年度実績:5日)等もあります。忙しい時期には休暇が取得しづらいこともあるかもしれませんが、仕事を調整して交替で休みを取っています。
19	夜勤はありますか。	原則としてありませんが、一部の職種や職場によっては夜勤があります。
20	テレワークや時差出勤は実施していますか？	テレワーク及び時差出勤の積極的な活用を推進しています。
21	外に出る仕事もありますか？	オンライン会議も活用していますが、職種や業務によっては、出張や市民訪問、現地調査等で事務所外に出る仕事もあります。
22	パソコンはどの程度使えれば大丈夫ですか？	特に必要なスキルはありませんが、キーボードを使用して文字が入力できるようにはなっておいた方がいいです。WordとExcelは使う機会が多いので、慣れておくと思いいます。独自のシステムなどを使う職場もありますが、入庁後に先輩から教えてもらえるので不安に思わなくて大丈夫です。
23	昼食はどうしていますか？	お弁当を持ってくる人、コンビニやスーパーに買いに行く人、近くの飲食店に行く人、配達を頼む人など様々です。
24	車での通勤はできますか？	車での通勤が可能です。車で通勤する場合、交通費は通勤距離に応じて支給されます。なお、駐車場を自分で確保する必要がありますが、駐車場代は支給されません。(市役所周辺の場合、賃借料は月10,000～15,000円程度です。)
25	女性はどんな服装で勤務をすればいいですか？	令和7年11月1日から「ナチュラルビズ」(軽装勤務)を通年で実施しています。服装の指定は特にありませんが、TPOに合った清潔感のある身だしなみを心がけてください。職種によっては、作業着など指定されたものを着用する場合があります。また、自転車や徒歩で通勤している職員の中には、早めに来て職場の更衣室で着替えるという人もいます。
26	(行政職)休日出勤はありますか？	土日・祝日に業務を行う部署もあります。例えば、各区役所の区民課は、毎月第2・第4土曜日が開庁日となっているため、職員が交代で出勤しています。また、普段は土日・祝日が休みの部署でも、イベントや選挙、災害対応などで休日出勤をすることがあります。休日に出勤した場合は、勤務時間に応じて平日に代休を取るか、時間外勤務手当が支給されます。

番	質問	回答
27	配属先や勤務地はいつわかりますか。	配属は、採用日に通達されます。事前に確認することはできませんが、市内勤務です。
28	異動の頻度はどのくらいですか？	3年～5年程度で異動となることが多いです。また、毎年1回、意向調査が実施されており、異動先の希望を出すことができます。
29	市役所本庁舎以外の異動先としてどのような場所があるのでしょうか。また、市役所以外の機関への派遣等がありますか。	市役所本庁舎以外にも各区役所・まちづくりセンター等様々な職場がありますが、原則として相模原市内となります。国や県庁などに派遣されることもあります。なお、東京事務所への配属や国、県庁、被災自治体、民間企業等に派遣された場合は、市外勤務となります。
30	海外赴任等はあるのですか。	海外赴任はありませんが、友好都市への海外出張や外国の機関との打合せなどの可能性はあります。
31	配属先の部署の決定にあたり、大学の所属学部や研究室の分野が影響することはありますか。	配属先については、これまでの経歴や意向等を踏まえ決定されます。
32	一般事務(行政)で受験しようと考えているのですが、社会福祉や学校事務への配属もありますか。	行政職で受験した場合は他職種での採用となることはありませんが、他職種と一緒に配属先になることはあります。なお、教育委員会の各部署への配属もありますが、学校に配属されることは原則としてありません。
33	福利厚生にはどのようなものがありますか。	旅行・レジャー・ショッピングなどのサービス、各種祝金、記念品、宿泊施設利用助成、人間ドック利用助成、レクリエーション事業、スポーツ大会など、様々な福利厚生事業があります。
34	産休・育休の取得率と、取得しやすい雰囲気なのか教えてください。育休産休後の復職はしやすいですか？	令和6年度の女性育児休業取得率は100%、男性の育児休業取得率は78.5%(事務職員・技術職員(保育士は除く。))です。多くの職員が育児休業復帰後も育児部分休業(男女問わず取得可能)等を利用しながら、仕事と育児を両立して業務に取り組んでいます。
35	育児との両立方法についてお伺いしたいです。	
36	サークルや同好会はありますか。	文化系・体育系合わせて20を超える数の同好会が活動しています。体育系では、大会に参加している部もありますし、個人のペースで取り組める活動や健康づくりに役立つ運動を行う会などもあります。文化系も、茶道や陶芸、蕎麦打ちなど様々な同好会があります。音楽関係では、職場近くで練習をしている社会人団体に入って演奏している職員もいます。
37	職員寮や住居手当はありますか。	職員寮はありません。住居手当については月額16,000円を超える家賃を払っている職員(借受名義人)に対し、上限28,000円の支給となります(支給額は家賃によって異なります。)
38	入庁後、どんな研修がありますか	まずは相模原市や地方公務員制度に関する知識、ビジネスマナーなど、働く上で必要な基礎知識を身に付けるための新採用職員研修が行われます。4月は職種に関係なく同期全体で受ける研修が多く、同期との交流を深めることができます。その後も各職場の業務に応じた専門知識を習得するための研修や、昇任時の研修など、いろいろな研修があり、キャリアアップを図ることができます。 研修制度や人材育成については、職員採用セミナーの実施結果ページに人材育成課の職員が作成した資料があるので、ぜひご覧ください。 ★「令和7年3月22日 職員採用セミナー」のページ https://www.city.sagamihara.kanagawa.jp/shisei/1026815/shokuin_annai/shiyakusho/1005253/1032230.html